

1997年(平成9年)阿嘉島臨海研究所の1年間の動き

List of research activities by visitors and the staff members in 1997

主な利用者と研究課題等

- 2月 「有孔虫の分布調査」八田明夫(鹿児島大学)
「座間味村産業祭り」で阿嘉島臨海研究所の活動内容を展示紹介
「阿嘉島におけるサンゴの一斉産卵と幼生の着生」大森信(東京水産大学)がアメリカ陸水海洋学会(於ニューメキシコ州サンタフェ)にて講演
- 3月 「淡水域の甲殻類調査」諸喜田茂充ほか(琉球大学)
「海洋微生物が生産する生物活性物質の構造と機能に関する研究」小玉健太郎ほか(三共(株)筑波研究所)(8・11月にも実施)
「JICAカリコム諸国(カリブ海地域)特設観光振興セミナー」の受け入れ
- 4月 「ヤコウガイとチョウセンサザエに対する紅藻類の着生誘因効果」下池和幸(阿嘉島臨海研究所)が日本水産学会春季大会(於東京)で口頭発表
「海洋微生物が生産する生物活性物質の構造と機能に関する研究」波越通夫ほか(東京水産大学)、小林久芳(東京大学)(8・11月にも実施)
研究所前にプレハブの標本室を建設
- 5月 「ミドリイシ属サンゴの異種間交配実験」服田昌之(国立遺伝学研究所)、深見裕伸ほか(東京水産大学):阿嘉島臨海研究所との共同研究(～6月)
「サンゴの産卵観察会」阿嘉小学校の児童を対象に、サンゴについての特別授業を行う。(7月にはサンゴ礁観察会を実施)
- 6月 「ヒドロ虫類の海洋生物学的研究」久保田信・Francesc Pages ほか(京都大学瀬戸臨海実験所)(9月にも実施)
「サンゴ礁における炭素循環についての研究」山田興一ほか(東京大学)
- 7月 「海綿由来生理活性物質の探索」梅澤一夫(慶応義塾大学)
「サンゴ礁によるCO₂吸収量の測定法の検討」立田穰(電力中央研究所):阿嘉島臨海研究所との共同研究
「八放サンゴレクチンの構造と共生における役割」神谷久男ほか(北里大学)(11月にも実施)
「造礁サンゴ幼生の着生機構に関する研究」Aileen N. C. Morse(カリフォルニア大学サンタバーバラ校):阿嘉島臨海研究所との共同研究
「造礁サンゴの炭素・窒素・リン収支実験」秦浩司(海洋バイオテクノロジー研究所)
ケラマ・キャンプとわくわく体験日記」近畿日本ツーリスト、ツアー参加者を対象にサンゴ教室を実施(～8月)
- 8月 「長野県岡谷市と阿嘉島の小中学生による自然環境についての交流学習会」(岡谷青年会議所)で、サンゴ教室を実施
「サンゴと共生藻の集団遺伝学的研究」William Loh(シドニー大学)

- 「サンゴの色彩形成に関する研究」高林美咲（シドニー大学）
「サンゴ礁の赤土汚染調査およびサンゴ礁保全学習会」大見謝辰夫（沖縄県衛生環境研究所）ほか
「造礁サンゴの増殖技術に関する基礎的研究」林原毅（水産庁西海区水研石垣支所）
「底棲生物群集の帯状分布に関する研究」Mehdi Adjeroud ほか（琉球大学）
「ケラマジカの生態学的研究」 當間順一ほか（琉球大学）(9・10月にも実施)
9月 「サンゴ礁のCD-ROM作成のための撮影」保坂三郎（財団法人熱帯海洋生態研究振興財団）ほか
「カツオ漁業の聞き取り調査」上田不二夫（沖縄大学）
「阿嘉島周辺海域の軟体動物相調査」土屋光太郎（東京水産大学）ほか
「サンゴ礁海域におけるベントスの定量評価に関する研究」岩尾研二ほか（阿嘉島臨海研究所）が、
海洋科学技術センター石垣島調査に参加
11月 「日本サンゴ礁学会設立大会」（於沖縄）に下池和幸ほか（阿嘉島臨海研究所）が出席
「共生微細藻の生物活性物質に関する研究」中村英士ほか（北海道大学）
「サンゴ礁のモニタリング調査」 Robert van Woosik ほか（琉球大学）

その他の主な来訪者

Marsh Youngbluth（ハーバーブランチ海洋研究所）、Liang Thui hua（サンパウロ大学）、岩崎弘倫（NHK科学番組部）、平澤甚治ほか（理化学研究所）、Amat Alexandra（静岡大学）、杉山勉（石巻専修大学）、寺島紘士・森田文憲（日本財団）、Yossi Loya（イスラエル国テルアビブ大学）、島田昭（名護市）

AMSL 刊行物

「みどりいし」No. 8、「アムスルだより」Nos. 23~28

共著論文

- 八田明夫・岩尾研二 1997. 共生藻類を含む生きている有孔虫の観察 - 理科教育における有孔虫の教材化の一例 - . 鹿児島大学教育学部研究紀要, 48: 79-88 .
灘岡和夫・二瓶泰雄・横山智子・大見謝辰男・下池和幸 1997. 海底分光反射特性解析に基づくサンゴ礁海域衛生モニタリングの一般化の試み. 海岸工学論文集, 44:1291-1295



サンゴの産卵観察会
1997年5月26日
阿嘉港にて



研究所利用者と共に
ニシハマでの夕べ
1997年8月23日